令和2年度

7月15日発行

# る 社協だより 尾張 あさひ

発行 社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会

〒488-0074 尾張旭市新居町明才切57番地 保健福祉センター内 TEL 54-4540 FAX 51-1880 ホームページ http://www.owariasahishakyo.jp/ 社協だよりやその他の社協情報はホームページでもご覧になれます。

新型コロナウイルス感染症の危機によって、多くの人が楽 しみにしていた行事や、様々な地域福祉活動が中止・延期を 余儀なくされています。こうした中、愛知県では緊急事態宣 言・緊急事態措置が解除され、新たな段階に入りました。当 然、元通りの活動をという期待が高まりますが、それほど単 純には行かず、これまでとは異なる形で、近い距離での対面 接触を避けて、感染予防に配慮しながら、交流・参加を進め る方法を編み出すことが求められています。



これはとても困難な課題に見えることでしょう。特にやりきれなさを感じさせるの は、感染症対策のための交流・参加の自粛要請が、これまで進めてきた「支え合い」や 「参加」の理念とは正反対のものであることです。しかし、地域福祉の取り組みの歴史 を振り返ってみると、決して不可能な課題とはいえません。なぜなら、過去にも災害な どの危機に応じて、力点を変えつつ地域福祉の新しい方法が展開されてきたからで す。1995年の阪神・淡路大震災では、「ボランティア元年」と称されるようなボラン ティア活動の持つ潜在力が注目されるきっかけとなり、その後の地域福祉活動に影 響を与えました。また、2011年の東日本大震災では、地域でのつながりや絆の意義 が注目され、新たな「支え合い」のしくみを作り出すきっかけになったのです。どちら も、危機に対応して、新しい「支え合い」「参加」の方法を生み出し、地域福祉活動を広 げるものでした。

今回の危機への対応としては、生活福祉資金の特例貸付のような生活基盤の保障 や、寄付などの経済的基盤の「支え合い」が重要です。こうした基盤の上で、全国各地 で多くの新しい試みが見られるようになってきました。自宅でもつながりを維持する 手紙やハガキ、電話、LINEを通じた交流活動や、人が少なく気温が上がらない早朝・ 夕方のウォーキングで外出を促進し、見守り活動を進める動きが見られます。これら の活動の一つひとつは「弱いつながり」に見えるもしれませんが、これまでの地域福祉 活動を新たな形で展開する可能性を秘めています。「弱いつながり」を強いものにする のは、積み上げてきた尾張旭市の地域福祉活動を最大限活かしつつ、新たな試みと 接続する方法です。こうした新しい地域福祉活動につながる方法を、社会福祉協議会 のスタッフ、そして皆さんとともに考えてまいりたいと思います。

> 尾張旭市社会福祉協議会地域福祉事業アドバイザー 愛知県立大学 教育福祉学部 准教授 松宮

#### Contents(主な項目)

- ●新型コロナウイルスと地域福祉活動
- ●令和元年度社会福祉協議会事業報告及び決算
- ●ボランティアセンターからのお知らせ
- ●あさひ支えあいサロン開設助成事業
- ●あさひ生活応援サポーター養成講座
- ●らくらく脳の健康教室参加者募集
- ●敬老肖像写真の贈呈

- ●あさぴー!マスク届け隊へのご寄付ありがとうございました
- ●特例貸付のご案内
- ●知るサポだよりNo.21号
- ●赤い羽根協力店の紹介
- ●福祉のまちづくり推進助成事業助成団体決定
- ●社会福祉協議会 職員募集のお知らせ
- ●寄付者一覧

# 令和元年度社会福祉協議会事業報告及び決算

6月に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、書面によるみなし決議にて理事会及び評議員会を行い、事業報告と決算が同意、承認されました。

#### ■ 事業報告 ■

#### 法人運営事業

理事会4回/評議員会3回/監査会1回/会員募集事業(一般2,473件、法人160件)/地域福祉活動計画推進会議1回·策定会議1回

#### 企画·広報事業

社会福祉大会開催(280人)/福祉マインドフェア尾張旭開催(1,200人)/社協だより発行(年4回、全戸配布)

#### 福祉のまちづくり事業

校区社会福祉推進協議会助成(9校区)/ボランティア連絡協議会加入団体助成(23団体)/障がい者団体等支援(4団体)/ボランティア給食サービス(75歳以上のひとり暮らし高齢者延べ1,240食)/福祉協力校助成(全小・中学校、旭野高等学校)/福祉実践教室開催(10校、1,510人)/福祉教育講座開催(14人)/災害ボランティアコーディネーター養成講座開催(34人)/フードドライブ事業(年2回)

#### 車いす等貸出事業

車いす貸出(延べ554台)/車いす 専用車貸出(延べ105件)

#### ボランティアセンター事業

ボランティア相談(235件)/ボランティア登録(81団体1,923人、個人62人、40施設)/男性のためのボランティア学校(3人)/クッキングボランティア講座(11人)/ボランティアサロン開催(11回、延べ119人)

#### 共同募金配分金事業

敬老肖像写真贈呈(80歳以上夫婦4組、90歳以上長寿者3人)/シニアクラブ連合会事業支援/ふれあいいきいきサロン助成(6か所)/点訳・音訳・要約筆記サービス事業支援/おもちゃ図書館開設/ウェルフェアボウリング大会支援/社会を明るくする運動支援/私立幼稚園・保育園図書購入助成(9園)/民間学童クラブ助成(6施設)/子育てサロン支援(3か所)/福祉のまちづくり推進助成事業(5団体)/要保護・準要保護

家庭児童生徒支援(749人)/児童 養護施設児童生徒支援(69人)/テーマ設定型事業(車いす10台購入) /活動助成団体及び施設(各校区社 会福祉推進協議会、ジュニアリーダ ーズクラブ、ボーイスカウト、ガール スカウト、交通少年団、ひまわり、く すの木、ちーとい、アトリエひまわり、 ひまわりホームII、児童発達支援センター楽田RAKUDA、放課後等デイサービス楽田RAKUDA、漁業田RA KUDA/NEXT、ジョブウェル、にこまる、よつ葉ハウス、このき尾張旭 校、心暖、ホワイトB、ブレーメン尾張旭、大和荘、フォワイエ)

#### 資金貸付事業

生活福祉資金貸付相談(144件)/ひまわり資金貸付相談(81件)/生活困窮者支援(フードバンク利用延べ13回)

脳の健康教室運営事業(13人) 紙おむつ給付事業(692人) 日常生活自立支援事業

相談(15件)/利用者(6人)

## 生活支援コーディネーター事業

あさひ生活応援サポーター登録 (70人)/あさひ生活応援サービス 事業利用(延べ221件)/あさひ生活 応援サポーター養成講座開催(3回、31人)/あさひ支えあいサロン 開設助成(3か所)

#### 居宅介護支援事業

介護サービス計画請求(延べ1,8 22件)/介護予防計画請求(延べ36 5件)

#### 地域包括支援センター事業

高齢者総合相談(延べ7,299件 ※うち、虐待・虐待の疑いを含む件 数延べ771件)/認知症サポーター 養成講座(20回、延べ783人)/地域 ケア会議(個別地域ケア会議8回、 ケアマネジメント支援地域会議4回、小地域ケア会議9回)/あさひ介 護者のつどい(4回、35人)

#### 認知症初期集中支援推進事業

チーム会議(11回)/支援対象者(10人※うち1人は支援継続)

#### 指定介護予防支援事業

介護予防プラン請求(包括作成延べ3,094件、委託延べ6,536件)

(単位:円)

# → 決算収入 213,833,152円支出 205,991,353円差引 7.841,799円(令和2年度繰越金)

**差5** /,841,/99円(令机2年度繰起入 (単位:円) 支出

収入	(単位:円)
会費	3,636,000
寄附金	3,402,973
経常経費補助金	63,466,197
市補助金 59,076,911 共同募金配分金 4,268,286 県社協補助金 121,000	
受託金	85,210,690
市受託金 82,522,600 県社協受託金 1,135,000 その他 1,553,090	
貸付事業	430,000
介護保険事業	44,760,604
基金·積立金取崩収入	4,307,774
前期末支払資金残高(前年度繰越金)	7,032,339
その他	1,586,575
収入計	213,833,152

	-	( <del>+</del>   <u>1</u> 2.1 ).			
社会	社会福祉事業				
	法人運営事業	65,554,890			
	企画広報事業	1,679,485			
	福祉のまちづくり事業	5,273,183			
	ボランティアセンター事業	5,349,806			
	共同募金配分金事業	5,203,498			
	資金貸付事業	887,503			
	日常生活自立支援事業	784,094			
	生活支援コーディネーター事業	7,765,347			
	その他	1,289,792			
公益					
	居宅介護支援事業	28,117,137			
	地域包括支援センター事業	84,086,618			
支出	占計	205,991,353			

# ボランティアセンターからのお知らせ

利用時間午前9時~午後5時 土・日曜日、祝・休日を除く TEL 51-5535 FAX 51-5543 尾張旭市渋川町三丁目5番地7 渋川福祉センター内

#### 福祉マインドフェア尾張旭2020の中止について

8月1日(土)午前10時から渋川福祉センターにおいて、福祉マインドフェア尾張旭2020の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止させていただくこととしました。

参加を予定または、検討されていた皆さんに大変ご迷惑をおかけしますが、何卒、事情をお汲み取りいただき、 開催中止にご理解くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ボランティア サロンのご案内



ボランティアセンターでは、ボランティア活動に興味をお持ちのかたや、すでに活動をしておられるかたを対象に右表のとおり「ボランティアサロン」を毎月1回開催しています。

#### ○申し込み及び問い合わせ先

渋川ボランティアセンター

#### <8月・9月・10月のボランティアサロン>

とき	8月19日(水) 午後1時30分~3時	9月9日(水) 午後1時~3時	10月28日(水) 午後1時30分~3時
ところ	渋川福祉センター 運動室	渋川福祉センター 会議室	渋川福祉センター ボランティア室
内容	じいじとあそぼ!!	切り絵 〜秋の気配を伝えよう!〜	「パッククッキング」を知ろう! 〜短時間調理、災害時にピッタリ〜
講師	男性ボランティア 活動研究会	福島 晴彦 さん	尾張旭市健康づくり 食生活改善協議会
定員	おやこ20組	12人	10人

※定員を超えた場合は、抽選となることがあります。

## ボランティア連絡協議会(ボラ連)とはどんな団体?

ボラ連は、ボランティアセンター登録団体の有志が助け合い、ボランティア活動の輪を広げ、地域福祉の向上を目指すことを目的に平成3年に結成しました。

現在は、福祉活動や青少年健全育成、まちづくりなどを推進する22団体が加入し、協力・連携しながら本市のボランティア活動の活性化を図っています。

具 他市町との交流体的		東尾張ブロックボランティア集会への参加、視察 研修会の実施、瀬戸・尾張旭ボランティア交流会 の開催
な活動	ボランティア行事の開催	福祉マインドフェア尾張旭の開催
割	広報•啓発活動	広報部会の開催、ボラ連広報紙「ボランティア尾 張あさひ」の発行

令和2	令和2年度ボラ連顧問・役員(敬称略)		
顧問	大 塚 宏 子 収集グループあさがお会		
会 長	丹 羽 睦 音訳グループあけぼの会		
副会長	平 野 静 子 尾張旭市更生保護女性会		
副会長	伊 藤 美佐子 うさぎの会		
書記	長谷川 裕 子 日本赤十字社尾張旭市地区奉仕団		
会 計	鈴 木 善 子 あさひ歌謡会		
監 査	岡 本 京 子 ガールスカウト愛知県第99団		
監査	小 室 みさ子 手話グループ手と手の会		

※任期は、令和3年5月総会時まで

## 校区社会福祉推進協議会(校区社協)とはどんな団体?

校区社協とは、暮らしの中にある地域の福祉課題に対して、そこで暮らす住民の地域の「つながり」を活かしながら取り組む住民主体の組織です。

本市には小学校区ごとに9つの 校区社協があり、それぞれの地域 に応じて、自分たちの生活する地 域の福祉課題やニーズをとらえ、 自主的・主体的に住みよい福祉の まちづくりに取り組んでいます。 さらに、9校区社協が連携を図る とともに情報共有するための合議 体として、校区社会福祉推進連絡 協議会(校区連協)を組織していま す。

	地域交流活動	地区住民の相互のふれあいを目的としたイベントなどの開催
具体的	在宅福祉活動	高齢者や親子などのサロン事業、高齢者の訪問・見守り活動
的な活動	広報·啓発活動	地域住民への福祉の理解や活動への参加を促進する活動、広報紙の発行、福祉講演会など
動	関係団体による 福祉活動への協力	共同募金運動などへの協力、福祉施設や学校等地域行事への参加・協力

令和	令和2年度校区連協役員(敬称略)			
会 長	森 喜 美 旭丘校区社会福祉推進協議会会長			
副会長	野 村 治 白鳳校区社会福祉推進協議会会長			
副会長	若 杉 満 城山校区社会福祉推進協議会会長			
副会長	竹 内 修 美 本地ヶ原校区社会福祉推進協議会会長			
書記	加 藤 紘 司 東栄校区社会福祉推進協議会会長			
書記	塚 本 恭 久 渋川校区社会福祉推進協議会会長			
会 計	松 原 式 信 旭校区社会福祉推進協議会会長			
監事	森 繁 美 三郷校区社会福祉推進協議会会長			
監 事	加 藤 守 松 瑞鳳校区社会福祉推進協議会会長			
VALUE HOLL	△100万株4円/0.円 △吐土子			

※任期は、令和3年第1回役員会時まで

# 地域のサロン活動の立ち上げを応援します! ∼あさひ支えあいサロン開設助成事業

この助成事業は、地域の高齢者やその介護者などが、閉じこもりや孤立しないように、地域の皆さんが主体と なって、集会所・ふれあい会館・個人宅などの場所を活用し、出会いや仲間づくりを提供する場の立ち上げを支 援することを目的とします。

#### 【助成対象活動】

市内で行う、次の要件のすべてを満たすサロン活動の立ち上げに対し、開設資金を助成します。

- ①実 施 回 数:原則として、月1回以上 ②活動内容:参加者の実情などに応じた多様な活動
- ③参加者数:概ね5人以上
- (4)会 場:公民館などの公共施設や個人宅など多様な形態で可
- ⑤参加対象者:活動地域に在住し、交流や見守りが必要と思われる高齢者やその介護家族など

【助成金額】1か所につき、上限5万円

# サロン活動紹介(4)

# 【サロン"ふあんふあん"】 令和元年5月に本事業を 活用されました。



#### ①活動拠点 ②活動日時 ③参加費 ④会費 ⑤活動内容 ⑥目的•特色

- (1) 喫茶ふぁんふぁん ② 毎月第3金曜日(10時~12時)
- ③ 飲み物代(コーヒーなど380円~) ④ なし
- ⑤ 地域のかたがたが自由に参加して、おしゃべりできる場所です。
- ⑥ 認知症のかた、その家族、医療や介護の専門家と地域の皆さ んが集う場所として開催しています。地域の高齢者、子育て世 代、子どもなど多世代が集うことにより、高齢者の「孤立」や「引 きこもり」を防止するとともに、子どもたちの見守りや生活の知 恵の伝承など、地域活性につながることを期待します。

どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

# あなたの思いやりとやさしさを地域の高齢者にお届けしてみませんか! 令和2年度も開催します!"あさひ生活応援サポーター養成

本会では、地域の高齢者のちょっとした困りごとを手助けする生活応援サポーターを養成するため、下表のと おり講座を開催します。どなたでも受講できますので、ぜひご参加ください。なお、生活応援サポーターの登録は 任意です。

			開催回	第10回	第11回
		【趣旨説明】	「生活支援で人にやさしいまちづくり」		
内	日		「先輩から学ぶ生活支援の実際」 ~"支えあい"がまちづくり?~	10月8日(木)	令和3年2月3日(水)
容		【DVD鑑賞】	「地域のつながりづくり」		
	及		「生活支援の場面で求められるコミュニケーション」 〜相手も自分も心地よく〜	10月15日(木)	△和2年2日10日(水)
催日な		【講義3】	「生活リハビリで介護予防」 ~ふだんのくらしがリハビリに~	10月13日(水)	令和3年2月10日(水)
ر ا ا	30	【交流会】	「私たちができる助け合いって何だろう」 〜ゲームで"たすけあい"をイメージ!〜	10月22日(木)	令和3年2月17日(水)
		【活動発表】 【修 了 式 】	「あさひ生活応援サービスについて」 〜生活応援サポーターの活動発表〜	10万22日(水)	刊刊3442月17日(水)
	各開催回の申込受付期間			5月26日(火)~10月1日(木)	10月2日(金)~令和3年1月27日(水)

会場保健福祉センター4階シアタールーム 開催時間 午前10時~正午

申し込み方法 電話または直接

【申し込み及び問い合わせ先】生活支援コーディネーター業務担当(森島・鶴見・吉川) TEL 55-7071(直通)

# 脳トレで認知症予防 「脳の健康教室」でらくらく楽習



東北大学加齢医学研究所所長川 島隆太氏が提唱する「読み書き」「計 算」「すうじ盤」の教材を使った脳の 健康教室を開催します。

脳のリフレッシュのため、教材を利用した楽習だけでなく、毎回脳トレサポーターによるおもてなしと交流会もあります。ご参加お待ちしています。





▲楽習教材とすうじ盤 **◆**らくらく脳の健康教室開講式

٢	き	10月6日(火)~令和3年2月16日(火 ※12月29日(火)を除く	<) 毎週火曜日(全 <sup>*</sup>	18回)午前10時~11時30分
とこ	ろ	尾張旭市保健福祉センター(シアター	-ルームなど)	
内	容	「読み書き」「計算」「すうじ盤」や脳トレサポーターによるおもてなしと交流		
対 象	者	市内在住の65歳以上のかた		
定	員	先着15人	参 加 費	8,400円(月額2,100円×4か月)
申込方	法	社会福祉協議会に電話または直接	申込期限	9月4日(金)まで※土・日・祝日を除く
その	ご自身の変化を確認していただくため、受講前と、1月下旬の教室時間内に、脳の健康チェックテスト「あたまの元気まる」を受検していただきます。			

# 敬老肖像写真を贈呈



▲昨年贈呈した山田様ご夫妻

赤い羽根共同募金の配分金事業の一つとして対象の希望者に、長寿を祝い、敬老の日に合わせ肖像写真を贈ります。

○**申し込み及び問い合わせ先** 社会福祉協議会

#### <対象者や写真内容など>

対 象	①昭和5年生まれで今年満90歳を迎えるかた ②どちらかが昭和15年生まれで今年満80歳を迎え、二人と も80歳以上となられるご夫婦 ※市内に居住し、①②ともにご自宅で写真撮影可能なかたに限 ります。		
写真内容	<ul><li>①の対象者 四つ切りサイズ(25.4cm×30.5cm)・カラー・アルミ製額</li><li>②の対象者 半切サイズ(35.6cm×43.2cm)・カラー・アルミ製額</li></ul>		
実施方法	8月中旬に自宅にて撮影し、「敬老の日」までにお届けします。		
費用	無料		
申し込み方法	電話または直接	申し込み期限	7月27日(月)

# あさぴー!マスク届け隊へのご寄付ありがとうございました

新型コロナウイルス感染症の感染予防のためのマスクや消毒液などの寄付を募集しましたところ、たくさんのかたがたにご協力いただきありがとうございました。

ご寄付いただきました物資は必要とする市内の福祉施設に配布します。また、今後もマスクや消毒液などをご寄付いただける場合は本会までご連絡ください。

(8ページに実績を掲載しています。)



▲電機連合愛知地方協議会様

# 特例貸付のご案内

新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少や失業などで、生活資金にお困りのかたがたに向けた特例貸付を実施しています。

具体的な内容は本会までお問い合わせ下さい。

# 知るサポだより№21

~ 尾張旭市地域包括支援センター~

# 「はいかい高齢者おかえり 支援事業」をご存じですか?

「はいかい高齢者おかえり支援事業」とは、はいかいのおそれのある認知症高齢者が行方不明になった場合に、「おかえり支援サポーター」の協力を受けて、早期に発見・保護しようとする取り組みです。

## 《はいかいのおそれのあるかたの事 前登録方法》

#### ◎対象者

市内に在住する、はいかいのおそれのある認知症高齢者(介護施設などに入所されているかたも登録可能)

#### ◎登録方法

登録希望者の家族・親族・成年後 見人・入所している施設の職員が、 「登録届」をご記入のうえ、ご提出く ださい。

#### ○登録届の提出先

地域包括支援センター

# 《「おかえり支援サポーター」 にご登録ください》

「おかえり支援サポーター」は、携 帯電話やスマートフォンから、どな たでも簡単にご登録いただけます。

サポーター登録後に、捜索依頼の メールを受け取った際は、可能な範 囲で捜索のための情報提供を警察 までお願いします。

#### ◎登録方法

携帯電話やスマートフォンで、下 記のQRコードを読み取りアクセス した先からご登録ください。



#### <ご家族のかた・介護者のかたへ>

はいかいにより、行方不明になってしまった時は、まずは警察に行方不明届を提出してください。市への捜索依頼(「おかえり支援サポーター」への協力要請)は、行方不明届の提出時に、守山警察署より案内があります。

#### ○行方不明届の提出先

守山警察署配(052)798-0110

#### 熱中症予防をしましょう!!





新型コロナウイルス感染症の感染予防に必要なマスクを着用する人が多い今年は、熱中症に特に注意が必要です。

#### 《マスクは顔を半分以上おおう》

マスクを着用すると皮膚からの放 熱が十分に行われず、熱中症になる リスクが高まります。感染予防とと もに熱中症にも気を付けましょう。

#### 《熱中症とは?》

熱中症は高温多湿な環境の中で、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調整がうまく働かないことで体内に熱がたまり、筋肉痛や大量の発汗、さらには吐き気などの症状が現れます。重症になると命にかかわることもあります。

熱中症患者で最も多いのは65歳以上の高齢者です。高齢になると、体内に水分を保持できない、喉の渇きを感じにくいなど、熱中症になりやすくなります。また、65歳以上の人が、熱中症を発症する場所は「屋外」より「屋内」が多く、自宅でも注意が必要です。

#### 《熱中症を予防しましょう》

◎こまめに水分補給しましょう!

### TEL 55-0654(直通)

マスクの中は湿度が高くなりのどの渇きが感じにくく、水分が不十分になりがちです。身体に吸収される水の量は30分で200mlが上限と言われています。のどの渇きを感じる前に、汗をかいたときはスポーツドリンクや梅干し入り番茶など塩分も一緒に摂りましょう。ただし、病気などで水分や塩分に制限のある人は主治医と相談してください。

#### ◎涼しい服装を心がけましょう!

外出時は帽子や日傘で日よけを し、風通しの良く汗が乾きやすい麻 や綿などの素材の服を選びましょ う。

#### ○室温を確認しましょう!

エアコンや扇風機を上手に活用 し、室温は28℃以下・湿度は70%以 下を目安にしましょう。

# ◎熱中症予防の基本は脱水症の予防です

- ・握手して⇒手先が冷たい
- ・舌を見て⇒渇いている
- ・親指の爪を押して⇒赤みが戻るのが遅い
- 手の甲の皮膚をつまんで
  - ⇒つまんだ形で皮膚が3秒以上 戻らない

こんなサインがあったら、脱水症が疑われます。

徐々に暑さに体を慣らし、マスク を着用している今年は例年以上に 熱中症に気を付けましょう。

## よりよく生きるための 「アドバンス・ケア・ プランニング(人生会議)」

本人が望んでいる治療やケアについて、万が一の時のために事前に信頼できる身近な人と話し合っておくことを「アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)」といいます。

多くのかたの場合、もしもに備えてしっかりと話し合いをしているこ

とは少なく、実際に家族などが急な 決断を迫られた際に悩んでしまい、 選択した結果を後悔してしまうこと があります。

事前に、本人の意思を確認し、あ る程度の方向性を定めておくこと で、万が一本人が意思表示できなく

なったときに、代わりに選択をする 人が重要な決断を行うための手助 けとなります。

「エンディングノート|や「遺言書| なども含まれますが、重要なのは、こ れらをただ書き記すだけではなく、 本人と身近な人とで話し合いの場 をしつかり設け、本人の目標や治療 方針などの希望を把握しておくとい うことです。

まだ本人が元気なうちから、人生 の締めくくりについて一緒に考え、 じっくり話し合ってみてはいかがで しょうか。

## 赤い羽根協力店を募集しています

10月1日から始まる赤い羽根共同募金の一環として、募金箱の設置など により、募金活動にご協力いただける「赤い羽根協力店」を募集しています。

#### ○ご協力いただく内容 —

- ①募金箱を年間通して設置 ②店頭に「協力店」のステッカーを表示
- ③10月1日から翌年3月31日までの共同募金期間中にポスターを掲示





募金箱

○申し込み及び問い合わせ先

尾張旭市共同募金委員会 Tel54-4540

## 現在ご協力いただいている赤い羽根協力店を紹介します。(順不同・敬称略)

#### 【旭前町】

・竹亭

## 【新居町】

- ・四季亭 尾張旭店
- ・ら一めんなごみや 尾張旭駅前店
- ・かつ星
- ・ピッツェリア・マリノ 尾張旭店

#### 【印場元町】

- ・かつ雅 尾張旭店
- ・喫茶 棒の手
- ・諭吉のからあげ 名古屋本店

#### 【上の山町】

・鈴松 本店

#### 【大字新居】

・ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場

#### 【柏井町】

さもと館

#### 【北原山町】

・金寿司

#### 【北本地ヶ原町】

・あいち尾東農業協同組合 尾張 旭産直センター

#### ·台湾料理萬来館 晴丘店

#### 【三郷町】

- ・ふる里
- ・萬作味
- ・秋田屋呉服店
- スナック橋
- ·Snack有蘭

#### 【渋川町】

- ・ハンプティー・ダンプティー
- ・ベッセル
- · 南風 尾張旭店

#### 【城山町】

・旭城レストハウス

#### 【瀬戸川町】

・ジョブウェル

#### 【東栄町】

- ・モスバーガー 旭三郷店
- ・ル・モンド

#### 【西大道町】

・活人堂

#### 【西山町】

・英 四軒家店

### 【東大道町】

- ・あいち尾東農業協同組合 尾張 旭グリーンセンター
- ・カメヤマ酒店
- ・おり紙・和紙の店 ふた美
- ・レフォール
- ・カフェ&パスタ パパス
- ・台湾料理萬来館 尾張旭店
- ・ぱんやさんkiki
- ・コメダ珈琲店 尾張旭店
- ・ベーカリーレストランサンマルク 尾張旭店

#### 【東本地ヶ原町】

・江戸芝鮨

#### 【南新町】

・喫茶 サーモン

#### 【南本地ヶ原町】

- ・高砂ベルシュ
- ・ゆで作

#### 【東大久手町】

・支留比亜珈琲店 森林公園通り店

## 助成団体を決定



赤い羽根共同募金を財源とする 福祉のまちづくり推進助成事業を 実施しました。新型コロナウイルス 感染症の感染拡大防止に伴い、公 開プレゼンテーションによる助成審 学教育福祉学部准教授松宮朝氏を はじめ4人の審査委員で書面による

審査を行いました。

助成金は、下表のとおりこどもか ら高齢者まで、地域に根差した福祉 活動に幅広く活用していただきま す。

#### 〈令和2年度 福祉のまちづくり推進助成事業 助成金額一覧表〉

No.	団体名	事業名	助成金額(円)
1	ピエール企画	ボランティアマジック	64,000
2	ハッピー&スマイル楽団	バンド演奏による老人ホーム慰問等	70,000
3	尾張旭こども自然学校	尾張旭こども自然学校(空とあそぼう)	80,000
	計	214,000	

# 社会福祉協議会職員募集のお知らせ

#### 1職種等

(1)職務の内容

居宅介護支援(ケアマネジメント)に関する事業

(2)職種及び雇用形態

介護支援専門員(ケアマネジャー)の常勤(正規)職員

(3)採用人数 (4)採用予定日

2人 令和3年1月1日

(5)応募資格等

介護支援専門員資格及び普通自動車運転免許証(AT限定可)

#### 2 試験方法

(1)第1次試験

受験申込書及び自己PR書で書類選考を行い、11月2日(月)に合否を決定(2)第2次試験(第1次試験合格者が対象)

11月11日(水)に面接試験等を行い、11月13日(金)までに合否を決定

#### 3 応募方法

10月30日(金)まで(土、日曜日及び祝日を除く)の午前8時30分~午後5時に本会事務局へ持参、または郵送(当日必着)でお申込みください。

なお、応募書類は、本会事務局で直接受け取るか、または本会ホームページからダウンロードしてください。

#### 4応募及び問い合わせ先

社会福祉協議会(担当:星原)

"やる気"のあるかた大募集!ご応募をお待ちしています!

# 善意のご寄付ありがとうございます

「福祉に役立ててください」と、たくさんの善意が寄せられています。皆さんにご報告するとともに、厚くお礼申し上げます。

#### ■一般寄付

3月16日~6月23日 (順不同)

寄付者名/寄付金額(単位:円)			
ユニー(株)ピアゴ印場店 "小さな善意で大きな愛の輪"運動 様 (庄中町)	20,615		
尾張旭市ゴルフ協会 様 (大字新居)	29,000		
東邦冷熱工業株式会社 様 (名古屋市)			
大竹 道江 様 (狩宿町)	120,000		
武内、榮子、様 (南原山町)	10,000		
名古屋ヤクルト販売株式会社 様 (名古屋市)	29,013		
匿名(7件)	260,559		

#### ■物品寄付

寄付者名/物品名	
白鳳校区社会福祉推進協議会 様 (桜ヶ丘町)	車いす2台
新居弘法大師奉賛会 様 (北原山町)	菓子7箱
武内 榮子 様 (南原山町)	紙オムツ2袋、尿とりパッド2袋
山田 宏子 様 (東栄町)	紙オムツ9袋、尿とりパッド2袋
たいようの会 様 (瀬戸川町)	ぞうきん55枚
前田 昌秀 様 (稲葉町)	フェイスシールド100枚
陣矢 幸夫 様 (南栄町)	紙オムツ3袋
匿名(6件)	紙オムツ59袋、尿とりパッド6袋、マスク100枚

※物品の状態によっては受け取りできない場合がありますのでご了承ください。

#### ■あさぴー!マスク届け隊

寄付者名/物品名		
(一社)フィジカルエクスプレッション協会 様 (桜ヶ丘町)	マスク200枚	
電機連合愛知地方協議会 様 (名古屋市)	マスク2,000枚	
B's Amor 尾張旭店 様 (東大道町)	消毒液20本	
前田 昌秀 様 (稲葉町)	フェイスシールド100枚	
その他大勢の皆さん	マスク1,202枚、消毒液6本	

# 社協だより春号掲載記事の 訂正とお詫び

社協だより春号(令和2年4月発行)に掲載の「共同募金にご協力いただいた皆さん」の記事で、法人名に誤りがありましたので訂正し、お詫びいたします。

誤 (株)アート旭

正 (有)アート旭

誤 (資)尾野ヂーゼル

正 (株)尾野ヂーゼル

# 社会福祉協議会の事業 (関係団体含む)について

新型コロナウイルス感染症の 感染拡大予防の観点から、様々 な対策を行いますが、今後の状 況の変化によっては中止あるい は延期する場合がありますの で、予めご承知おきください。

※最新の情報は、本会ホームページをご覧ください。

# 「社協だより 尾張あさひ」 〔広告掲載のご案内〕

社会福祉協議会の広報紙「社協だより尾張あさひ」に広告を掲載してみませんか?

令和2年度秋号(10月発行)に 掲載の広告を募集します。

## 問い合わせ先 社会福祉協議会

# こんなとき、こんなお金をぜひ、 社会福祉協議会へご寄付を!!

- ○福祉のために役立てようと思ったとき
- ○会社や商店の開設、開店など の記念事業の一部
- ○お祝い事、香典の一部
- ○同窓会などの残金、各種チャリ ティーバザー

## 慶弔のお返しを 福祉のまちづくりに

社協では、香典返しの一部をご寄付いただいたかたに対し、 礼状と封筒の作成、宛名書きをいたします。詳しくは、お問い合 わせください。